

夏期の学校生活における新型コロナウイルス感染予防対策

活動帯	主な対策
登校前自宅	<ul style="list-style-type: none"> ①体調の確認（風邪症状、だるさなど） ②体温の測定（37.5℃以上は学校を休む） ③マスクの準備 ④複数枚のハンカチ及び汗拭き用タオル
バス乗車	<ul style="list-style-type: none"> ①マスク着用 ②座席は離れて座る。会話は控える。
学校着	<ul style="list-style-type: none"> ①体温の測定をしていない児童は、児童玄関ホールに設置している体温計で測定する。 ②体調がすぐれない場合には、教室に入らず保健室へ。 ③教室に入る前に石けん・ハンドソープで手洗いをする。 ④健康観察カードを担任に提出する。 ④37.5℃以上は、速やかに連絡をして帰宅させる。
授業中 （教室）	<ul style="list-style-type: none"> ①窓を10cm程度開ける。 ②前後のドアも開放する。 ③エアコンを適宜使用し、室温調整を行う。※設置予定 ④グループ活動の場合にはマスクを着用し、できるだけ少人数で行い、机を挟む等距離をとる。 ⑤読む、話す活動は、大声での発声を控える。 ※一斉指導の時は、マスク使用は任意、指導する教師はマスク着用
授業中 （音楽）	<ul style="list-style-type: none"> ①窓を10cm程度開ける。 ②前後のドアも開放する。 ③グループでの練習時にはマスクを着用する ④歌唱指導は当面行わない。 ⑤リコーダー等の飛沫が飛散する恐れのある楽器は使用しない。
授業中 （体育館）	<ul style="list-style-type: none"> ①窓や非常口を開放し、空気が循環できるようにする。 ②原則マスクは着用しない。 ③密集・密着する種目は避け、距離を保って活動できる種目を指導する。 ④ボールやバットなどは多数の児童が触れないような配慮をしたり、定時に消毒したりする。 ⑤地区体育館使用時は水筒を準備し、水分補給を行う。 ⑥適切に休憩をとる。
休憩時間	<ul style="list-style-type: none"> ①教室は、窓とドアを全開し換気をする。 ②あわあわ手洗い(30秒)を徹底する。 ③教室ドアの消毒 ④適切に水分をとる。
定期的な 消毒活動 （職員）	<ul style="list-style-type: none"> ①空き教室の机・いすの消毒 ②共有部分、物品の消毒（手すり、ドアノブ、スイッチ、PCキーボード・タブレット等）
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> ①配食時は、手洗いとマスク着用特に配慮する。 ②全員、前を向いて摂食、グループでは食べない。

	<p>③できるだけ話をしない。</p> <p>④給食後は、お盆を洗いふきんで拭く。（衛生的に保管）</p>
清掃時間	<p>①換気をする。</p> <p>②全教室の机、いす、ドアの消毒</p> <p>③トイレのドアの消毒</p>
中・昼休み	<p>①図書室は開放するが、貸し出しを行い教室で読書する。</p> <p>②雨天時には、希望者は地区体育館に移動して遊ぶ。</p> <p>③グラウンドでの運動は可。（一人か距離をとってできる遊び）</p> <p>④外でのマラソン運動等は、気温に合わせて運動量を調節する。</p> <p>※外での活動時、原則マスクは着用しなくてもよい。</p>
集会活動	<p>①プレイルームの窓や出入り口を開放し空気を循環する。</p> <p>②全員マスク着用（外で行う場合はマスクは任意とする）</p> <p>③前後左右の間隔を広く取り、活動場所一杯を使う。</p> <p>④全校集会でも同一方向を向く。</p> <p>⑤マイクを使用する。</p> <p>※雨天時以外は、外で行う</p> <p>※外で行う場合は、帽子を着用</p>
学校生活 全般	<p>①せきエチケットの徹底</p> <p>②鼻をかんだティッシュは蓋つきのごみに捨て、掃除の際に教師が捨てる。</p> <p>③いじめ等の防止のため、コロナ感染について、ふざけた言動をとらない。</p> <p>④決まった所に消毒液を常備し、職員は定期的に消毒する</p>
自宅	<p>①抵抗力を高めるような体調管理（睡眠、食事、衣服調節）</p> <p>②検温の徹底</p> <p>③不要不急の外出自粛</p>

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、対応を変更することもあります。

- マスクは、外での活動及び風邪症状等ある場合以外は着用しなくてもよいこととする。（着用は任意）
- 校内で行う全校や複数学年合同での活動等、人数が多くなる場合はマスクを着用する。
また、グループ活動等マスク着用が必要な時にすぐに着けられるよう常に準備しておく。
- 体育等、地区体育館での活動があること、また、熱中症予防対策として、児童は水分補給のための水筒を準備する。